

令和2年度

学校教育自己診断結果



岸和田市立産業高等学校
定時制の課程

令和2年度学校教育自己診断目標設定と結果

※実際に学校生活を送っている生徒の結果について、以下の共通項目全てについて、肯定率（「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の合計）60%以上を目標に設定し取組みます。

1. 学校生活の充実について	平成31年度	令和2年度	対前年度
診断項目	肯定的回答	肯定的回答	
学校へ行くのは楽しい	66.0%	46.8%	-19.2%
2. 授業の充実について			
授業は分かりやすく楽しい	73.6%	57.4%	-16.2%
3. 学力習得感について			
学力は身につけてきている	81.1%	63.8%	-17.3%
4. ホームルーム、学校行事の参加について			
ホームルーム活動に積極的に参加している。 学校行事や生徒会活動に積極的に参加している。	59.5%	52.1%	-7.4%
5. 学校行事の工夫について			
学校は、学校行事を楽しくおこなえるように工夫している。	75.5%	74.5%	-1.0%
6. 相談体制について			
先生は、生徒の意見をよく聞いてくれる。 先生は、悩みや相談に親身になって応じてくれる。 先生は、他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。 担任以外にも、保健室や相談室等で気軽に相談できる先生がいる。	74.5%	66.5%	-8.0%
7. 教科指導の工夫について			
先生は、教え方にさまざまな工夫をしている。	75.5%	74.5%	-1.0%
8. 成績の評価基準について			
先生は、テストの得点だけではなく、生徒の努力や授業に取り組む姿勢などを含めて学習の評価をしている。	84.9%	80.9%	-4.0%
9. 生活指導について			
先生は、学校生活について適切に指導している。 先生は、いろいろな問題を見逃さずに対応してくれる。	74.6%	69.2%	-5.4%
10. 進路指導について			
学校は、ホームルームや面談などで将来の進路や生き方について考える機会を提供している。 学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。 学校は、進路実現（就職・進学対策）を積極的におこなっている。	74.8%	75.9%	1.1%
11. 人権教育について			
この学校では、命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い。 この学校では、人権の大切さについて学ぶ機会が多い。	75.5%	77.7%	2.2%

【考察】

コロナ禍による休校や行事の縮小等の影響が色濃く出た結果となった。生徒にとって学校の魅力が激減してしまったことは残念であるが、そんな中でも目標を下回った項目が3つにとどまったこと、進路指導と人権教育の項目において肯定率が上昇したことは評価できる。

今後とも、学校へ行くのが楽しくなるよう、魅力ある授業や行事が行えるよう取り組みを進めていきたい。

令和2年度 学校教育自己診断 生徒

項目	内 容	肯定的	否定的
1	学校へ行くのは楽しい。	46.8%	53.2%
2	授業はわかりやすく、楽しい。	57.4%	42.6%
3	学力は身に付いてきている。	63.8%	36.2%
4	ホームルーム活動に積極的に参加している。	57.4%	42.6%
5	この学校に入学して、信頼できる友人ができた。	66.0%	34.0%
6	学校内での友人関係を、わずらわしく思うこともある。	42.6%	57.4%
7	学校行事や生徒会活動に積極的に参加している。	46.8%	51.1%
8	部活動や放課後の諸活動に積極的に参加している。	23.4%	74.5%
9	検定試験の資格取得のため、自分自身は努力している。	51.1%	48.9%
10	先生は、生徒の意見をよく聞いてくれる。	76.6%	23.4%
11	先生は、教え方にさまざまな工夫をしている。	74.5%	25.5%
12	先生は、テストの得点だけではなく、生徒の努力や授業に取り組む姿勢などを含めて学習の評価をしている。	80.9%	19.1%
13	先生は、学校生活について適切に指導している。	72.3%	27.7%
14	先生は、悩みや相談に親身になって応じてくれる。	68.1%	31.9%
15	先生は、他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。	63.8%	36.2%
16	先生は、いろいろな問題を見逃さずに対応してくれる。	66.0%	34.0%
17	先生は、責任を持って授業やその他の仕事に当たっている。	80.9%	19.1%
18	担任以外にも、保健室や相談室等で気軽に相談できる先生がいる。	57.4%	42.6%
19	学校は、ホームルームや面談などで将来の進路や生き方について考える機会を提供している。	83.0%	14.9%
20	学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。	68.1%	27.7%
21	学校は、進路実現(就職・進学対策)を積極的におこなっている。	76.6%	23.4%
22	学校は、ホームルーム活動を積極的におこなっている。	85.1%	14.9%
23	学校は、学校行事を楽しくおこなえるよう工夫している。	78.7%	19.1%
24	学校は、資格取得の取り組みを積極的に行っている。	87.2%	10.6%
25	学校は、地震や火災などの災害時にどのような行動をとればよいか、具体的に知らせている。	70.2%	27.7%
26	この学校では、命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い。	78.7%	19.1%
27	この学校では、人権の大切さについて学ぶ機会が多い。	76.6%	23.4%
28	校長先生の考えや話は、興味深くよくわかる。	46.8%	48.9%
29	教室や特別教室などは、活動しやすいように整備されている。	66.0%	31.9%

※ 肯定的:「よくあてはまる」+「ややあてはまる」
 否定的:「あまりあてはまらない」+「まったくあてはまらない」

◆ 学校の取り組みに対する評価から

昨年度に引き続き、ほぼ全ての項目において肯定的回答が過半数を超える結果となった。特に、進路情報の提供や進路実現のための取り組みに対して、肯定的回答をした生徒が昨年度より増加した。

また、資格取得の取り組みについては８割以上、ホームルーム活動や学校行事の工夫についても８割近くの生徒から肯定的回答を得た。さらなる向上を目指し、引き続き本校の特色である「府内唯一の商業科定時制」、「アットホームな指導体制」を活かした指導に取り組んでいきたい。

◆ 教員に対する評価から

ほぼ全ての項目において、肯定的回答が過半数を超える結果となった。中でも、「テストだけではなく努力や姿勢に応じた評価を行っているか」との問いには８割を超える生徒から肯定的な回答を得た。教員一人一人が生徒や学校の実態を捉えた実践的指導を実施している結果と考え、引き続き努力していきたい。

一方、「悩みや相談に親身になって応じてくれる」、「他の人に知られたくない秘密を守ってくれる」との問いに対しては、肯定的回答が約１割程度減少した。これは、新型コロナウイルス感染拡大防止のための一斉休校措置により、生徒と関わりあえる時間が減少してしまったことが一因と考えられる。今後も学習指導のみならず、あらゆる場面において生徒に寄り添う意識を教員間で共有し、生徒に示していけるよう、改善に努めたい。

◆ 生徒自身に対する評価から

「学校へ行くのは楽しいか」との問いに肯定的な回答をした生徒は、昨年度より２割程度減少した。特に新１年生の減少が目立ち、不登校経験のある生徒や、人間関係の構築が難しい生徒が、年度当初の一斉休校により適切な時期に新たな環境に進めなかったが大きく影響していると考えられる。今後も、生徒に寄り添いながら、安心して学校生活を送ることができる環境整備に努めたい。

令和2年度 学校教育自己診断 保護者

項目	内 容	肯定的	否定的
1	学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	100.0%	0.0%
2	学校は、保護者の願いに応えている。	100.0%	0.0%
3	学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。	100.0%	0.0%
4	学校の成績評価や進級規定について理解している。	97.3%	2.7%
5	学校の進路指導は適切に行われている。	97.3%	2.7%
6	学校の生徒指導方針に共感できる。	100.0%	0.0%
7	学校は、保護者の相談に適切に応えている。	97.3%	2.7%
8	各教科の授業は、わかりやすいようだ。	89.2%	10.8%
9	教員は、子どもを理解し、公平に接している。	97.3%	2.7%
10	子どもは、いろいろな悩みを教師に相談できる。	83.3%	16.7%
11	子どもは、自分のクラスが楽しいと言っている。	86.5%	13.5%
12	子どもは、文化祭・体育祭・校外学習などの学校行事に、積極的に参加している。	75.0%	25.0%
13	学校は、いじめ等に対して適切に対処している。	100.0%	0.0%
14	学校は、生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	94.6%	5.4%
15	学校は、教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢がみられる。	100.0%	0.0%
16	学校は、生徒や保護者に地震・台風などの緊急時の行動を知らせている。	100.0%	0.0%
17	学校は、授業参観や懇談会等をよく設けている。	94.6%	5.4%
18	学校から保護者への文書等は適切である。	100.0%	0.0%
19	学校では、生徒に関するプライバシーが守られている。	100.0%	0.0%

※ 肯定的:「よくあてはまる」+「ややあてはまる」
 否定的:「あまりあてはまらない」+「まったくあてはまらない」

令和2年度 学校教育自己診断（保護者用）結果考察

今年度は、質問内容全19項目中の18項目で80%を上回る肯定的な（よくあてはまる・ややあてはまる）支持を受け、残る1項目も75%の肯定的支持があった。保護者の皆様からは、ほぼすべての項目において本校の教育活動にご理解ご支持を頂けているものと思われる。

特筆すべきは、100%肯定的となっている項目が全19項目中で9項目あることだ。肯定的支持が90%を上回るものを含めると実に15項目が非常に高い肯定率を示している。

肯定的回答が100%のものは、学校が「教育方針」や「生徒指導方針」、「地震台風等の緊急時の行動」、「保護者への文書等」をわかりやすく伝えており。また、「保護者の願い」や「連絡・意思疎通」、「いじめ等への対処」、「人権の尊重」、「天災等緊急時の行動」、「生徒のプライバシー」などに対して適切に対応し相談や指導を行っていることがらである。昨年と比較しても5項目増えているため、これに満足しないで今以上に評価されるよう努力を続けたい。

また、その他の項目も80%以上の評価を得ているため、油断しないで日々の自己研鑽や教員研修を怠らず向上をこころがけたい。

唯一、肯定的評価が75%であった、「子どもは、文化祭・体育祭・校外学習などの学校行事に、積極的に参加している」は裏を返せば1/4の生徒が楽しめていないことを意味する。新型コロナが原因で行事そのものの実行が危ぶまれ、盛り上がりず不安定な状態での実施が原因なのか、生徒自身がおとなしくなり行事などを楽しめなくなってきたことが原因なのかは現状ではまだ見極めがつきにくい。今年度、縮小したり変更した学校行事の評価は時間をかけてじっくり検討し、今後の学校行事全体の計画を洗いなおしたいと思う。

令和2年度 学校教育自己診断 教職員

項目	内 容	肯定的	否定的
1	学校は、教育活動全般について、生徒や保護者のニーズや願いによく応えている。	100.0%	0.0%
2	生徒の実態を踏まえ、授業の学習形態や指導方法の工夫・改善を行っている。	92.4%	7.6%
3	到達度の低い生徒に対する学習指導を、全校的課題として取り組んでいる。	77.0%	23.0%
4	様々な問題行動の防止のための早期指導に学校全体で心がけている。	84.6%	15.4%
5	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる。	92.3%	7.7%
6	生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、各学年に応じた系統的な進路指導を行っている。	69.3%	30.7%
7	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択できるよう、きめ細かい情報提供を行っている。	76.8%	33.2%
8	ホームルーム活動を主とした学級経営の改善に、学級や学年、学校全体で取り組んでいる。	76.8%	33.2%
9	学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行っている。	84.7%	15.3%
10	教育活動において、生徒に社会規範や市民道徳を守る意識が育まれる機会をつくるよう配慮している。	76.8%	23.2%
11	人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、全教職員で話し合っている。	53.8%	46.2%
12	様々な偏見や差別のない社会を築く資質を養えるよう工夫している。	76.8%	23.2%
13	体罰やセクシャル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢に基づいた生徒指導が行われている。	69.3%	30.7%
14	学校運営に、校長のリーダーシップが発揮されている。	53.9%	46.1%
15	学校運営に、教職員の意見が反映されている。	77.0%	23.0%
16	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	76.9%	33.1%
17	教職員間の相互理解が十分なされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	69.3%	30.7%
18	この学校では、生徒の学校生活の場としての教育環境が整備されている。	76.9%	23.1%
19	この学校では、清掃が行き届いている。	46.1%	53.9%
20	施設・設備の拡充は、長期的見通しに立って計画されている。	53.8%	46.2%
21	施設・設備について定期的に点検や管理が行われている。	53.8%	46.2%
22	校内研修は、適度に企画され、教職員は積極的に参加している。	92.3%	7.7%
23	校外研修は、迅速に情報提供され、積極的に参加できる体制が整っている。	69.3%	30.7%
24	中学校などとの連絡や情報交換の機会を設け、教育活動全般に生かしている。	77.0%	23.0%

※ 肯定的:「よくあてはまる」+「ややあてはまる」
 否定的:「あまりあてはまらない」+「まったくあてはまらない」

令和2年度 学校教育自己診断 比較

	項目			評価(肯定率)		
	生徒	保護者	教職員	生徒	保護者	教職員
1	学校へ行くのは楽しい。	子どもは、自分のクラスが楽しいと言っている。	学校は、教育活動全般について、生徒や保護者のニーズや願いによく応えている。	46.8%	86.5%	100.0%
2	授業はわかりやすく、楽しい。	各科目の授業はわかりやすいようだ。	生徒の実態を踏まえ、授業の学習形態や指導方法の工夫・改善を行っている。 到達度の低い生徒に対する学習指導を、全校的課題として取り組んでいる。	57.4%	89.2%	84.7%
3	学力は身に付いてきている。			63.8%		
4	ホームルーム活動に積極的に参加している。	子どもは、文化祭・体育祭・校外学習などの学校行事に、積極的に参加している。	ホームルーム活動を主とした学級経営の改善に、学級や学年、学校全体で取り組んでいる。 学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行っている。	57.4%	75.0%	76.8%
5	学校行事や生徒会活動に積極的に参加している。 学校は、学校行事を楽しくおこなえるように工夫している。			46.8%		84.7%
				78.7%		
6	先生は、生徒の意見をよく聞いてくれる。 先生は、他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。 担任以外にも、保健室や相談室等で気軽に相談できる先生がいる。	子どもは、いろいろな悩みを教師に相談できる。	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる。	65.9%	83.3%	92.3%
7	先生は、教え方にさまざまな工夫をしている。	各科目の授業はわかりやすいようだ。	生徒の実態を踏まえ、授業の学習形態や指導方法の工夫・改善を行っている。 到達度の低い生徒に対する学習指導を、全校的課題として取り組んでいる。	74.5%	89.2%	84.7%
8	先生は、テストの得点だけではなく、生徒の努力や授業に取り組む姿勢などを含めて学習の評価をしている。	学校の成績評価や進級規定について理解している。		80.9%		
9	先生は、学校生活について適切に指導している。 先生は、いろいろな問題を見逃さずに対応してくれる。	学校は、生命を大切にすることや社会のルールを守る態度を育てようとしている。	様々な問題行動の防止のための早期指導に学校全体で心がけている。 教育活動において、生徒に社会規範や市民道徳を守る意識が育まれる機会をつくるよう配慮している。	69.2%	94.6%	80.7%
10	先生は、悩みや相談に親身になって応じてくれる。	子どもは、いろいろな悩みを教師に相談できる。	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる。	68.1%	83.3%	92.3%
11	学校は、ホームルームや面談などで将来の進路や生き方について考える機会を提供している。 学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。 学校は、進路実現(就職・進学対策)を積極的におこなっている。	学校の進路指導は適切に行われている。	生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、各学年に応じた系統的な進路指導を行っている。 生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択できるよう、きめ細かい情報提供を行っている。	75.9%	97.3%	73.1%
12	この学校では、命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い。 この学校では、人権の大切さについて学ぶ機会が多い。	学校は、生命を大切にすることや社会のルールを守る態度を育てようとしている。	体罰やセクシャル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢に基づいた生徒指導が行われている。	77.7%	94.6%	69.3%

※肯定率が高いもの(生徒は60%以上、保護者・教員は80%以上)を色づけした。

考察

保護者の傾向は例年と大きく変わらないが、生徒の結果にはコロナ禍による休校、行事の縮小の影響が出ているように思われる。

「ホームルーム活動、クラブ活動、行事等への積極的な参加」については定時制高校の積年の課題であるが、コロナ禍で失われた「学校へ行くのが楽しくなる」ことにつながる取り組みを引き続き進めていきたい。